一般質問（2）

競争をあおる教育計画に反対 都の財政再建による影響 他

倉根　康雄（共産）

「教育計画（案）」は、特色ある学校づくりの推進・予算の傾斜配分や実績による配当・人事考課制度を活用した教職員の資質の向上と開発など、学校に競争原理を持ち込む意図がはっきりとあらわれており、賛成できない内容である。

質問 公費・私費負担の見直しの具体的ねらいは。

答弁 卒業対策補助金・演劇鑑賞の委託料・バスの借り上げ・修学旅行の補助金などを見直す。

質問 公民館使用料の見直しとあるが。

答弁 行財政改革大綱にある使用料・手数料の見直しの一環。

質問 東京都の第二次財政再建推進プランは、区市町村への補助金の見直し、事業の民営化や市への押しつけなどを意図しているが。

答弁 影響が市に転嫁されないよう働きかけていく。定期予防接種費補助の廃止が提案され、市民負担にするか、他の施策を廃止して市の負担とするか検討せざるを得ない。

質問 東大農場について、党市議団のアンケートでは「自然を生かした公園や農場など」が1位で75％だった。今後の対応は。

答弁 関係機関等との調整を図りながら市の方針を策定する。

芝久保公民館・図書館（芝久保町5丁目）

ゆとりある教育に逆行する「教育改革」は撤回せよ

安斉　慎一郎（共産）

市民参加の充実を

質問 審議会などで、会長の提案に対し、賛成、反対、保留は委員の自由であることを確認するべきだ。

市長 考えていない。

中学校給食の実現を

質問 市立小中学校ＰＴＡ・保護者の会連絡会から要望書が出されている。中学校給食を求める声が強い。

教育長 外注弁当を改善する。

質問 調布市が中学校給食を計画した。

市長 弁当を持参できない子の対応をしている。

意見 調布市の例は弁当持参併用の完全給食だ。青嵐中学校から着手せよ。

「教育改革」で先生たちも子どもたちも忙し過ぎる

質問 学校週5日制、学校選択制、特色ある学校、開かれた学校、総合的な学習などの「教育改革」の中で、先生は、勤務時間内に授業の準備、テストの作成・採点、生徒の相談への対応などができない状態にある。

先生は「子どもも疲れている。特に6時間目、身体のリズムが崩れている子が多い、けがが多い、学習の率が上がらない」といっている。これが「教育改革」の実態だ。

教育長 子どもたちは慣れてくる。先生が暇であってはしようがない。

行政は十分な資料を示して議会の審議を受けよ！

森　輝雄（無所属）

調布保谷線・環境施設帯

質問 車道16ｍは変わらないとの認識の根拠は何か。環境施設帯の市の認識は。

市長 車道16ｍと理解している。36ｍ幅にしたから環境施設帯ができた。

質問 だれに聞いたのか。道路構造令上20ｍ幅では車道16ｍ4車線はつくれない。環境施設帯はつくれないものをつくるための奇策だ。

市長 勘違いかもしれない。もっと広い案もあった。

質問 初めて聞いた。どこにあったのか。

市長 記憶だ。もっと狭い話も、40ｍという話も。

意見 そんな資料はない。あるのなら示せ。

シックスクール問題

質問 都の対策委員会の報告文書は見たか。内容の紹介や審議はなかったか。

教育長 都の報告は、市の対策委員会の後だった。

質問 市の対策委員長は都の対策委員だ。話はなかったのか。都は6物質測る。市は4物質でいいのか。子どもの安全は保てるのか。

教育長 市に持ってくるかどうかは個人の問題だ。

質問 全部測るべきだ。基礎データにもなる。

教育長 測定数に限らない。都の報告は参考にしたい。

意見 いつ何を測るかの一覧表がある。開校前なのだから測ったらどうか。

建設が進む（仮称）合併記念公園の管理施設

おもちゃで遊ぶ親子（ピッコロハウス）

安心して子育てできる街に 誰もが利用できる保育施策を！

岩越　笙子（公明）

次世代育成支援対策

質問 国は7月に次世代育成支援推進法を成立させた。従来に加えすべての子育て家庭が利用できる保育サービス、男女が子育てしながら働ける職場の整備を行う等の目的で、市町村は行動計画策定をすることになっているが取り組みは。

答弁 17年から10年間の計画が義務づけられている。

本市は16年度、現在策定中の子育て支援計画を軸に行動計画を策定していく。

保育施策の平準化

質問 公立保育園と認可外保育施設の利用料・運営コストの格差は大きい。また待機児童対策として都の研修を取り入れ、保育ママの拡充を図るべきと考えるが。

答弁 公立保育園の民営化によるコストの削減、認可外施設に対する補助・保護者への補助のあり方は、平準化に向けた検討課題である。保育ママは検討する。

リハビリテーション

質問 パワーリハビリの本市の現在の取り組みは。

答弁 プロジェクトチームをつくり検討している。

市民会館の再構築

質問 日本語講師等の養成を市で行っているが、固定的な活動拠点がない。再構築の中で考えてはどうか。

答弁 市民の意見を聞きながら検討していきたい。

ビデオルームでビデオを見る子供たち
（子ども家庭支援センター「のどか」）

安心・安全のまちづくりを！

中田　恵美子（公明）

防犯グッズの助成を

質問 昨今、治安の不安などから防犯ブザーの貸与をしている行政が多いが、本市の取り組み予定は。

答弁 現在生活安全条例の準備をしている。その中で対応していきたい。

街路灯・防犯灯について

質問 ひったくり事件等が夜間に多発している。市内全体を満遍なく明るくすべきではないか。

答弁 夜安心して通行できるまちづくりに積極的に取り組んでいく。

移送サービスの向上を

質問 武蔵野市では、13年度から地域の商店主と提携して高齢者・障害者の移送サービスを行っている。利用料がかかるが、福祉と商店街活性の観点から、当市にも導入できないか。

答弁 各商店街、商工会の意向、地域のニーズを考慮し、積極的に検討したい。

中学校給食、弁当外注方式の検証と今後の見直しを

質問 弁当外注方式の実施状況は約4％と低い、課題を調査すべきではないか。また、青嵐中建てかえに際しては、給食室が必要になった場合に施設建設が可能な設計にすべきではないか。

答弁 1月にアンケート調査を実施する。青嵐中の給食室は、転用可能な場所を確保している。

庁内に防犯係を設置し窓口を明確にせよ！

小幡　勝己（公明）

質問 市民の安全な暮らしを守る観点で、庁内に防犯係を設置し、市民への窓口を明確にすべきではないか。

答弁 条例制定後のあらゆる事務事業を見据えて、組織についても検討する。

質問 都の緊急雇用特別基金を活用し、防犯パトロールを実施する考えはあるか。

答弁 条例制定の中で、パトロール的なものも次年度検討していく。

質問 はなみずき公園の改修を早期に実現せよ。

答弁 地域が求める改修方法を検討していく。

質問 地域コミュニティの仕組みづくりについて問う。

答弁 基本計画の実施等の中でコミュニティ検討委員会の設置を想定している。各々の目的を損なわず、連携を保つ体制を検討する。

質問 合併記念公園の今後の運営管理について問う。

答弁 市民ボランティアと市が協働で維持管理を実施していきたいと考えている。

質問 ＩＳＯ１４００１取得後の取り組みについて。

答弁 市の事務事業に関して一層の省資源、省エネルギーを進め環境負荷の低減を図り、率先して地域の模範となる取り組みを進める。

質問 新青梅街道北原西交差点横断歩道の安全確保を。

答弁 警察と対策についての協議をしていく。